

森のムツレ教室とは？

約50年前、ヨスタ・フロム氏によって作られたスウェーデン発の子ども向け環境教育です。持続可能な社会形成を目指し、世界11ヶ国に広がっています。

(社)日本野外生活推進協会

2017.1.13 発行



春一番の花が咲く森の一角でくつろぐ
ムツレボーイ園の子どもたち

ご挨拶

日本野外生活推進協会 代表理事 高見 豊

新年あけましておめでとうございます。
皆様方にはご健勝で、2017年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年は、熊本や鳥取などで大きな地震が続き、北海道を直撃した台風、Uターンした台風など、これまでに経験したことのない自然災害が発生した年でした。
被災しなくとも誰もが気候変動の影響を肌で感じ取っているのではないのでしょうか。

さて、大きな事業であります第3回「ネットワーク組織代表者会議」と第6回「森のムツレ全国シンポジウム in 岐阜」を岐阜県関市で開催いたしました。NPO 法人長良川自然学校 内藤孝洋さんをはじめとする実行委員会と地元のリーダー・スタッフの皆様、そして参加くださいました皆様のおかげで盛大に開催することができました。講演会には昨年に引き続き、札幌医科大学脳神経科 鶴飼渉先生を招き「子どもと自然との関係」についてお話を聞きました。また、全国から集まったリーダーによる活動事例発表や交流会では有意義な情報交換ができました。地元岐阜県や愛知県でのムツレ教育の今後の広まりに期待したいと思います。

協会にとって重要な活動である「森のムツレ教室リーダー養成講座」を、昨年は13回開催することができました。そのリーダー養成講座に欠かせない講師の養成講座も本部と新潟で開催することができました。

多くの新しいリーダーと講師が誕生しました。これからの活躍に期待いたします。

ホームページとフェイスブックページは好評で順調に運営できるようになり、情報発信力が増してきました。協会のムツレネットワークで皆様と情報を共有していけたらと思っています。皆様方の情報を協会事務局へお寄せ下さい。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

また、リーダーの皆様方の森のムツレ教室がますます発展しますようにお祈りいたします。

理事・監事

代表理事	高見 豊
理事	君塚 昌俊
理事	小山 通子
理事	西村 恭子
理事	本庄 賀寿美
理事	原田 優
理事	荻野 尚子
理事	大東 まこ
理事	芦田 亜也
監事	足立 邦明
監事	余田 淳子



事務局

事務局長 高見 幸子

協会事務局事務員

松本みゆき

ネットワーク事務局事務員

松枝 純

＊□＊国内の最新動向＊□＊

森のムッレ協会新潟で養成講座

2016年10月14～15日 森のムッレ教室リーダー養成講座、
15～16日 講師養成講座 を開催



森のムッレ教室リーダー24名、講師14名が新たに誕生！！

下は、講師陣と新講師の皆さんです。



ネットワーク組織代表者会議

2016年10月27日 岐阜県関市 鶴の家足立にて開催



現在、21の契約団体があります。

今回は、その中の9団体13名が代表者会議に参加。森のムッレ教育とネットワークをどう広めていくか活発な意見が交わされました。ネットワーク事務局は、団体サポートのためご要望に随時応えていきます。

第6回森のムッレ全国シンポジウム in 岐阜

2016年10月29～30日 岐阜県関市にて開催



基調講演

なぜ、自然が子どもの脳の発達に必要なのかについて講演される札幌医大の鶴飼渉先生。リーダーのモチベーションが高まりました。

午後は、事例発表でそれぞれの活動に刺激を受けました。



夜は、ダイナミックに！

長良川河川敷でのキャンプファイヤーでリーダー交流会を行いました。



シンポジウム2日目、クノッペン、クニユータナ、ムッレ、ストロベリー体験教室に87名が参加されました。

実行委員長 NPO 法人長良川自然学校 内藤孝洋さんをはじめ、副実行委員長 鈴木輝久さん、桜花学園大学 嶋守さやか先生と学生の皆さん、ご尽力いただきありがとうございました。

森のムッレフォーラム in 福津市
(主催:環境ネットワーク「虹」)

2016年10月23日
福岡県福津市 宮司コミュニティセンターホール で開催



基調講演:札幌医大 鶴飼渉先生

当協会事務局長 高見幸子

環境ネットワーク「虹」代表の佐伯美保さんは、森のムッレ教育は自然感覚を育み、未来を拓くことができる教育と発信、地球環境基金助成事業としてフォーラムを開催されました。森のムッレが、着実に九州のNPOと保育園に広がっていることが事例発表でよくわかりました。今後の発展に期待します。

**全国シンポジウム in 岐阜でのムッレ教室の公開教室は
桜花学園大学の学生リーダーたちが担当**



森のムッレ、フェルフィーナ、ノーバ、そして長良川からはラクセが登場！
自然保護のメッセージを伝えました。



東京のリーダーからの報告

① 「スウェーデンキッズウィーク 2016」で

森のムッレ体験教室開催

2016年10月15～16日 東京都港区 スウェーデン大使館より依頼を受け、森のムッレ体験教室を大使館の庭及び周辺の緑地で行いました。合計60名が参加しました。

② **自然と子どもについての講演会**

2016年10月18日 東京都調布市 調布市文化会館において「すべての子どもに野外活動をスウェーデン環境教育の最前線」と題し講演会を開催しました。講師は事務局長 高見幸子。77名が参加しました。



③ **ファミリームッレ体験教室**

2016年11月26日 東京都新宿区 新宿御苑において開催し、親子6組が参加しました。

サステナブル・アカデミー・ジャパン
共同代表 光橋 翠



ファミリームッレは都会の公園でもできる

森のムッレ教室は、都会の公園で活動ができること、それが森のようちえんと森のムッレ教室の活動の違いの一つでもあります。

東京の新宿御苑だけでなく、他の都市でも動きがあります。

① **静岡県浜松市 遠州灘海浜公園でファミリームッレ**

静岡県環境学習指導員・浜松市環境学習指導員の鈴木輝久さんは、浜松市の遠州灘海浜公園で3歳の子どもの親子 10 組を対象に、ファミリームッレの活動を展開されています。教室は大人気で、応募者が多く、リーダーを増やしたいとのことでした。



② **神戸市森林植物園で森のムッレ教室体験会**

(主催:六甲健康保養地研究会)

神戸ではリーダーの太田昌子さん、小山通子さんが市立森林公園の協力によって地域の親子対象に「ムッレ教室体験会」を春と秋に実施されました。今後も続けていきたいとのことでした。また、一緒に活動するリーダーも募集中です。



＊□＊海外の最新動向＊□＊

2016年度 森のムッレ優秀リーダー賞



今年、スウェーデン南部のマルメ支部で、移民が多い住宅街でインクルーシブな森のムッレ活動をしているリーダーのマリーウィルヘルムソンさんが授賞。今秋、野外プレスクールの園長に就任されました。

フィンランドの森のムッレと交流

今年8月は、森のムッレ新潟から6名のリーダーがスウェーデン視察のほか、フィンランドの保育園での森のムッレ教室を視察されました。

また、協会事務局がコーディネートをし、徳島大学の研究者の方々にフィンランドの保育園での森のムッレ教室の視察をしていただきました。

フィンランドでは、森のムッレ教室が全国31%の保育園で活動の一環として導入されています。

フィンランド語で、森のムッレを「Metsämörri(メッティモリ)」といいます。



森のムッレ国際シンポジウム in Wales のお知らせ



ignite
Clicking Potential in the outdoors



日程 2017年8月2日(水)～7日(月)

会場 Dare Vally Park

- ・ ロンドンとシンポジウム会場の往復トランスファー
- ・ デイアバレーパークホテルにて5泊 4人部屋 8月2日到着 8月7日出発
- ・ 食事 朝食と夕食(10食付き)
- ・ シンポジウム参加費(8月4日、5日、6日のランチ込み)
- ・ 1日の観光オプションツアー(ランチ込み)

ウイスキー工場と滝の見学 あるいは デイアバレーの探索

早割：£625 (90, 962円)

価格：£675 (98, 239円) ※航空券は含まれておりません。

参加希望の方は、事務局の松枝まで、1月31日までにご連絡ください。
お申し込み方には、随時、プログラムの詳細の情報をお送りいたします。

活動紹介

NPO 法人青空保育たけの子 (福島県)

2011年の震災後より、原発事故による放射能の影響で外遊びができなくなった福島県福島市の子どもたちを、山形県米沢市まで片道50kmの距離をほぼ毎日ように送迎されています。

のびのびとした外遊び中心の保育や土に触れる農業体験、自然教室、冒険遊び場などの活動をされ、また震災後に山形へ避難している子どもたちも受け入れられています。



代表の辺見妙子さんは、現在「森のオープンプレスクール」を新しい活動の一つとして取り入れ、ご活躍です。